

パッシブリズミング空調システム

概要

パッシブリズミング空調システムは、空調機を断続的にON-OFFさせ室温に変化を与えることによって、従来の無機的な均一空調よりも快適になるだけでなく、空調ランニングコストの低減も可能な空調システムです。

■特長

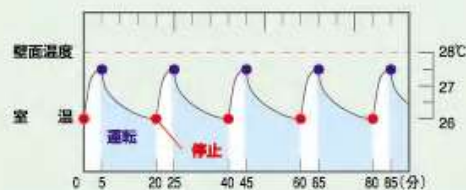
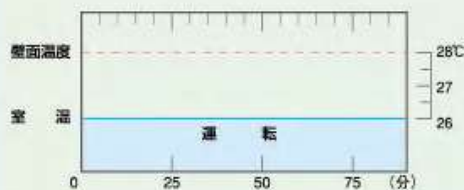
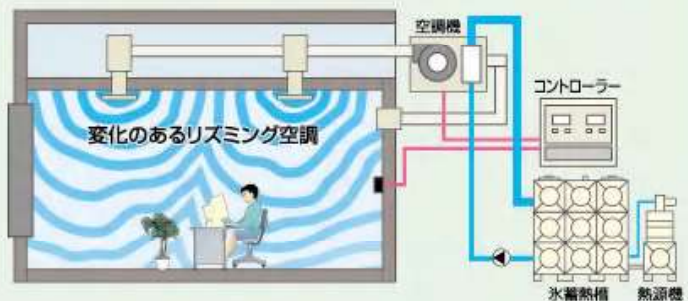
- ①空調機のON-OFF制御によりランニングコストの低減が可能
- ②氷蓄熱低温送風との併用による、空調機の小型化、ダクトの小径化で省スペース化が可能
- ③既設建物にもコントローラの設置により適用可能

システムイメージ

従来空調



パッシブリズミング空調



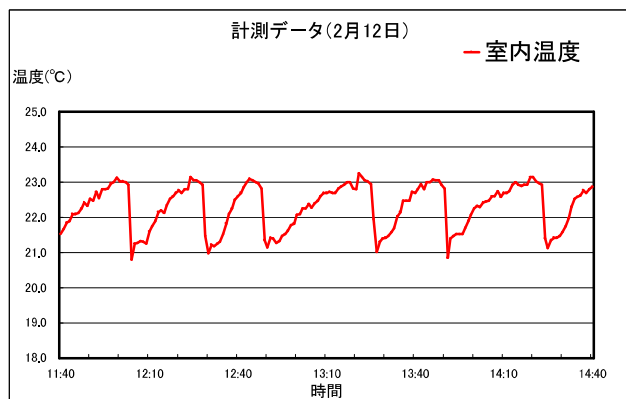
コスト比較（試算）

		氷蓄熱パッシブリスミング方式	一般空調方式	
イニシャルコスト	計	102.5	100.0	
	内訳	熱源工事	33.9	18.6
		空調機器工事	42.9	46.3
		空調ダクト工事	18.6	23.0
		空調配管工事	5.5	8.1
		リスミング自動制御工事	0.5	0.0
		受変電設備工事	1.1	0.6
	ガス引込配管工事	0.0	3.4	
年間ランニングコスト		88.7	100.0	
回収年数		1.9年	基準	

〈試算条件〉 ・一般空調方式の熱源はガス吸収式冷温水発生機である。
 ・建物概要…用途：事務所ビル 延床面積 約10,000㎡ 地上9F 地下1F
 ・工事費は変動要素のみ



檀原神宮崇敬会館休憩所に適用



暖房時の温度変化

■用途

- ・一般オフィス、店舗
- ・新築建物及び空調リニューアル

■関連資料

- ・空気調和・衛生工学会論文集, 1997、No. 64、No. 67
- ・空気調和・衛生工学会学術講演概要集, 1995、1996、1997、1998
- ・建設省建築研究所・建築研究振興協会研究報告書, 1999
- ・奥村組技術研究年報, 1996、No.22、1998、No.24
- ・第6回 国土技術開発賞「優秀賞」受賞